

教育厚生・土木森林環境委員会 県内調査活動状況

1 調査日 平成30年10月19日(金)

2 委員出席者(13名)

○教育厚生委員会

委員長 桜本 広樹

委員 望月 勝 塩澤 浩 杉山 肇 猪股 尚彦

早川 浩 小越 智子

○土木森林環境委員会

委員長 大柴 邦彦

副委員長 卯月 政人

委員 鈴木 幹夫 石井 脩徳 土橋 亨 古屋 雅夫

3 委員欠席者

○教育厚生委員会

清水喜美男 中村 正則

○土木森林環境委員会

臼井 成夫 宮本 秀憲 久保田松幸

4 地元議員(富士吉田市)

渡辺 淳也

5 調査先及び調査内容

(1) 【富士北麓公園球技場】

○調査内容

※球技場の工事状況を視察後、説明及び質疑を行った。

問) 今回の件は、教育委員会と県土整備部の連携がしっかりしていれば防げたのではないかと感じる。

教育委員会が工事を依頼したということであるが、教育委員会として工事を依頼したのだから、やはり県土整備部側が工事を施工する段階や現場において業者と打ち合わせをすることがあったらと思う。そういったところに教育委員会の職員が一緒に行って立ち会っていれば、こういったことが施工する前に防げたのではないかと思うが、その点について、教育委員会としてどのように考えているのか。

答) スポーツ健康課では、昨年12月の補正予算において、球技場の芝生張りかえ工事の設計業務について議決をいただいた後、都市計画課に工事の執行を依頼し、その後、設計業務の1回目の打ち合わせ会議に出席したほか、工事発注後の7月下旬と8月上旬に、現地で工事の進捗状況の確認をした。

しかしながら、依頼元として、工事が確実かつ円滑に施工できるよう、県土整備部と受託

業者等の打ち合わせには、適時に出席するなど、設計工事の内容や進捗などを確認する必要があったと考えている。この点については反省をしている。

問) 昨年6月の議会の教育厚生委員会の中で、桜本委員長が、当時は委員だったが、そのときに、都留興譲館高校の建設工事に関して、依頼する部局の県土整備部に、設計や発注などの業務にかかわるようなシステムも必要ではないかということ指摘している。

去年の6月にこういったことを指摘しているにもかかわらず、今回のようになってしまったということについて、そういった指摘に対してどのように受けとめたのか、今後の対策についてどのように考えているのか、あわせて伺う。

答) 議会で指摘の点については、スポーツ健康課において、芝生の張りかえ工事を検討し始めた昨年5月以降、県土整備部や指定管理者の県体育協会などと協議を重ねながら、球技場の芝生の張りかえ工事を予算化したところである。

その後は、先ほどの答弁のとおり、工事の進捗状況の確認などを行ってきたところであるが、委員の指摘のとおり、こうした対応が十分でなかった。今後は、工事の依頼側も県土整備部と密な連携ができるよう、相互に協力して体制づくりを検討していきたいと考えている。

問) 重ね重ねになるが、今、話を聞いていると、税金の無駄づかいをしている。昨年6月という話だが同じことではないか。

この工事に関して言えば、スポーツ健康課の案件だが、工事の施工について、県土整備部は、なぜ確認をきちんとしなかったのか。そして、工事業者に進捗状況をどの程度、確認したのか。

答) 工事の内容については、体育協会や芝生の管理専門家の意見を聞きながら維持・管理や利便性を考慮して設計したものであり、スポーツ健康課からの依頼に沿ったものだと認識していたために、確認が十分でなかった。詳細については、現在、調査を急いでいるところ。

問) 先ほどの話だと、もう少し連携をとってこの工事を進めていれば、こんな無駄づかいのようなことにならなかったと思う。また、意思疎通を図るといえるが、こういうことがあるということは、意思疎通が図れていなかったという指摘になると思うが、いかがか。

答) 設計から施工まで非常にタイトなスケジュールだったということもあるが、やはり意思疎通をしっかりとやるべきであったと反省をしている。

詳細については、現在、調査しているところであり、その中で、今後の再発防止策等についても、しっかり考えていきたい。

問) 毎回、こういった不祥事が起きたときに、いつも答弁の中で、次にはこういうことが発生しないように、十分徹底した検査をしながら、また、執行部で連携をしながらやっていくということを言う。

知事が昨日のテレビでも言っていたが、1カ月たってからこのことの報告があったとのこと。説明では執行残が2,900万円あったから、その2,000万円を使ったと、簡単に言うが、これはやはり県民の税金なのだから、こういうことが繰り返しされているということは、非常に遺憾なこと。まず、こういう問題が起きたときに、知事への報告事項といったものはどのようにしているのか伺いたい。

答) 今回の件については、既定の予算の中で、また、その富士北麓公園のスポーツ施設の改修という目的に沿った中で、施設をよりよいものへとすることから、必要な通常の手続で執行していたということで、知事への報告がおくれたのは大変申しわけないことだと思っている。

問) 申しわけないではなくて、県庁内のそうした執行部の縦、横の連携、不祥事が起きたときの知事への報告、それから、部長への報告、そうしたものの経過というのはどうなっているのか。その辺をしっかりとできるのかどうか対応を聞きたい。

答) 委員の指摘のあった点については、今後、しっかりと対応を徹底していきたい。

問) 心配なのは、この時期に芝を張りかえるということ。梅雨入り前に張りかえるのが通常だと思うが、この時期に張ることで、しっかり活着するのか。これから冬になったら、今、せっかく張った芝が、まただめになって、また新しく芝を買うみたいなことになりかねないが、その辺はどうか。

答) 現在、発注している工事の中に、施肥であるとか、薬剤散布、養生といったものが入っており、工期が12月までであるということで、その中でしっかり管理をしていって、芝が活着するように、注意深く施工していきたい。

なお、芝の施工時期であるが、設計において専門家から聞き取りする中で、委員がおっしゃる夏前だけでなく、秋というのも適期だということで、施設の利用者調整等をしてながら、この時期に施工をさせていただいた。

問) 今回、私どもは、このことを新聞報道によって知った。恐らく新聞で報道される前に、この事案はわかっていたと思うが、こうなる前に委員会等で事前に説明を伺えたら、もっと方法があったのではないかと思っている。その点については、いかがか。

答) 調査していて、原因の究明を進めていたためおくれしてしまった。申しわけない。結果が出た時点で、速やかに報告するつもりでいた。調査結果がまとまったら、後日、改めて説明させてもらいたい。

問) このように大きな問題になる前に、事前にそのことがわかっていたはず。委員長なりに話をして、委員等も、事前にその状況を確認したりして、できるだけ早急にそれを解決していくという方向が大事だったと思っている。今後についてどのように考えているのか伺う。

答) 委員の指摘のとおりであり、今後、そのとおりに気をつけていきたい。

問) 単純にいうと、議会は全面芝生で承認した、スポーツ健康課は全面芝生で発注した。だけど、でき上がったものは違ったということ。

8月末にわかったということだが、なぜ1カ月半もかかったのか。先ほど調査中だと言ったが、意思の連携、疎通がないということで、まだ1カ月半も調査しているのか。原因の追及に時間がかかり過ぎではないか。単純に、発注内容を確認しなかっただけなのに、それになぜ1カ月半もかかるのか、まず今どういう状態なのか教えてもらいたい。

答) 委員の指摘の点については、本当に申しわけないが、関係者も多く、調査すべき内容も非常に多いということで、期日を要している。調査がまとまり次第、報告させていただきたい。

問) 来年、ラグビーのワールドカップがあつて、ラグビーのワールドカップ組織委員会にも全面芝生で登録してある。日本のオリンピック関係でも全面芝生で登録してある。そこにも書類を直さなければいけない。そういうこともあるし、その後のことで、あそこの芝生のグラウンドは、インゴールがほかのグラウンドよりも大きいということで、あそこでいろいろな練習を試合中もできるという、そういう売りがある。それなのにそうでない発注をしていた。

それと問題は、かからないはずの2,000万円を教育委員会が払ったということ。どうい
うつもりで、どこの予算から払うのか、もう一度、詳しく説明をお願いしたい。

答) 予算については、平成30年度予算で、富士北麓公園関係のスポーツ施設改修費について、
工事請負費が2億9,729万2,000円措置された。この2億9,729万2,000円に
は、陸上競技場の芝生であったり、また球技場の芝生であったり、その他機械設備の工事等
が計上してあり、こういった工事を執行していく中で、執行残があった。このお金を教育委
員会の承認をもらって使っているが、この点については、一度、県土整備部は、アスファ
ルトが維持管理上有効だと考えてやったわけだが、その後、それをさらによりよいものにする
という理解をしてもらったものだと考えている。

問) 民間だったらということを考えてもらいたい。請負業者が間違ったとすれば、これは代金
をもらえない。発注側が間違っていたらという、払わなければいけない。民間としてはどう
いうときにお金を払わなければならないということを考えると、今言った執行残から簡単に
払えるという感覚については、もうちょっと真剣に考えるべきだと思う。

繰り返しで悪いが、民間と比べた場合のその差というのをよく理解してもらいたい。民間
では許されないと。それをどう捉えているかお聞きしたい。

答) 繰り返しになって大変申しわけないが、アスファルトについても、維持・管理、利便性等
を考えてやったということで、それをさらによくするものということで、理解をいただき
たい。

問) 平成29年度予算執行のところに、富士北麓公園グランド改修設計委託とある。設計委託
のときには、ここは芝生ということで教育委員会から発注したのか。新聞を読むと、全面と
いうふうに言っているだけであったので、そこは捉えられなかったのではないかと思う。こ
の設計委託の設計の段階で、施主である教育委員会からは、このアスファルト部分を全部芝
生にするという設計で、それをもとに設計はつくられていたのかどうか、まずそこを確認し
たい。

答) 12月の補正予算については、全面芝生ということで設計費を計上させていただいたと
ころである。これを都市計画課に執行のお願いをしている。

問) ということは、施主である教育委員会のほうは、設計の段階では全部、芝生になるとい
うつもりで発注していて、それも設計で書いてあったと。だけど、設計のところを都市計画課
のほうでよかれと思って、勝手に設計を変更したとなると、設計を変更するに当たって、変
更するときに施主に確認をすることは、家を建てるときもそうだし、通常だと思う。

全面芝生のときの金額と、アスファルトにしたときの金額が変わってくると思うが、その
設計変更のときは、その金額上はどのくらい違ったのか。

答) 設計変更にかかわる内容といったものについて、どの程度コスト削減になるかといったよ
うなことも含めて、また、教育委員会との間で、こういった協議がなされていたか、こうい
ったことは、現在調査中であり、まだ整理はついていない。

問) 各委員会から指摘のあった、いつ頃までに調査結果が解明できるのかということ、なぜ長
である知事に対して1カ月以上も報告がおくれたのかということも含めて、教育長、県土整
備部長から発言を求める。

答) 教育委員会と他部局との連絡調整がまだまだ十分ではなかった、また、報告・連絡・相談

といった基本中の基本が不十分であったと思う。昨年6月の委員会でも指摘のあったことであるが、システムとしてどうチェックしていくのかということと、職員の資質という点でどうしていくべきかといったさまざまな点から考えていくべき必要があると思っており、そういったことを進めながら再発防止に取り組んでいきたい。

ただいま委員長から指摘のあった、調査結果の知事への報告のスケジュールについては、現時点では確定していないので、速やかに調整したうえで報告させてもらいたい。

答) このたびの富士北麓公園球技場の再施工について、県民の皆様には大きな疑念を持たせることとなったことに改めてお詫び申し上げます。

知事への報告がおくれたこと、また今回のことが起こったことについて、今、全力で調査をしているところ。誰がいつどうしたのかといったことをしっかりと踏まえながら、どういう考え方でこうした事態を招いてしまったのかを、まずはしっかりと調べさせてもらい、その上で、再発防止策をしっかりとつくっていくべきと考えている。

調査に時間がかかっていることについては、申しわけないことであり、できるだけ早急に結果をまとめて報告させていただきたいと思っている。

まさに今回の事案は、私どもと教育委員会の間で、報連相という基本中の基本がまだまだ甘いものがあったということは、全くもってそのとおり。これをしっかりとやれと言うだけでなく、システムとしてルール化することも重要な再発防止策の一つと思っている。二度とこういったことが起きないように、しっかりとシステムをつくって再発防止に取り組んでいきたい。

